

## くすりの町・道修町で「夏休み親子おくすり教室」開催 自由研究に役立つ、親子で参加する無料イベント

～ 230年以上続く少彦名神社、製薬会社の集う「くすりの町」を子ども達へ伝える ～

治験（臨床試験）支援機関のインクロム株式会社（大阪府吹田市、代表取締役：金田仁二郎）は、少彦名神社、大阪家庭薬協会（ともに大阪府中央区）との共催で、小学校高学年を対象に「夏休み親子おくすり教室」を7月26日（土）、8月23日（土）に開催します。くすりの歴史を学んで「薬膳ドリンクづくり」「飴づくり」体験と、夏休みの自由研究のヒントがたくさんあります。大阪市内で親子参加できる無料イベントとして親子の思い出に、さらに、江戸時代から続く「くすりの町・道修町」を地元の子どもの達へ伝える狙いです。

### 身近な「生薬」と「薬膳ドリンクづくり」、「のど飴※づくり体験」

薬膳は、医食同源の考えに基づき、生薬を組み合わせた食事で体の調子を整えるものです。当教室では、中国から伝わった生薬が、現代のスーパーでも入手可能な身近なものであることを学び、体験学習として、体質にあった薬膳ドリンクをつくります。夏休みの自由研究としてオリジナル薬膳ドリンクづくりへ発展させることができ、食効・味・複数の食材の購入など、保護者同伴にすることで適切にフォローしていただく狙いです。

また、身近な家庭薬のひとつ「南天のど飴（常盤薬品工業）」を模倣した飴づくり体験も用意します。※規制により薬効成分は入りませんが、常盤薬品工業社員の指導のもと、形状・製法は本物同様の飴づくりです。こうした体験を通して、お子様自身に毎日の健康を支えるくすりへの気づきを促し、親子で話し合うきっかけづくりとしても活用いただける参加費無料のイベントです。

### 薬の神様「神農さま」も登場

当社のキャラクターで少彦名神社公認の「神農さま」も登場します。当教室の最後には、神農さまから修了証書とともに境内で記念撮影した集合写真やノベルティグッズが子供たちに手渡されます。このほか、神社社務所ビル3Fのくすりの道修町資料館の見学も可能です（教室終了後・希望者）。大阪・道修町がくすりの町としてどのように発展していったのか、自由研究の素材としても興味深い、貴重な古文書・道具などが展示されています。

### 夏休み親子おくすり教室 概要

講師：薬の歴史・薬膳ドリンク指導：田部昌弘（薬学博士／大阪家庭薬協会 専務理事）  
飴づくり指導：常盤薬品工業

日時：①7月26日（土）、②8月23日（土）ともに10：00～12：00

※②は、おくすり教室後12：30からの神事「献湯祭」にご参加いただくことができます。

対象：小学5・6年生とその保護者

参加費：無料 ※要事前予約

申込：[フリーダイヤル] 0120-72-8343（インクロム ボランティアセンター）

※受付期間は7月1日～8月20日の9：00～17：00（土日祝可）

場所：少彦名神社（大阪府大阪市中央区道修町2丁目1-8）

主催：少彦名神社、大阪家庭薬協会、インクロム株式会社（幹事会社）

イベント告知 Web サイト：<http://dm.medimag.jp/event/20140726.html>



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

インクロム株式会社 広報部 三野（さんの） 携帯：090-4649-1652

（大阪事業所）〒565-0853 大阪府吹田市春日4-12-11 千里サンプラザ新館

TEL：06-6192-0002 e-mail：[bridging-jpn@incrom.com](mailto:bridging-jpn@incrom.com)

ホームページ：<http://www.incrom.com/>

### 当日のタイムテーブル

- 9:45 ～10:00 受付
- 10:00～10:10 神農さまと記念撮影（境内にて）
- 10:10～10:30 座学（薬の歴史や生薬について学び、薬膳用の体質チェック）
- 10:30～11:40 薬膳ドリンクづくり／飴づくり
- 11:40～12:00 神農さま再登場、修了証の授与

### ■健康の神、薬の神を祀る「少彦名神社」と「くすりの町・道修町」

少彦名神社のある大阪市中央区の道修町は、くすりの町として知られています。道修町がくすりの町として知られるようになったのは、江戸時代 8 代将軍徳川吉宗の時代である享保 7 年(1722)、幕府によって大阪道修町の薬種中買仲間<sup>やくしゅなかがいなかま</sup>124 人は株仲間として認められ、所薬種を吟味(検査)して適正価格をつけ独占的に全国へ供給するようになって以降のことです。

その歴史は豊臣時代までさかのぼり、道修町を含む北船場地区は長崎からの輸入品を扱う貿易商の町でした。その中で中国から輸入される唐薬種を扱う堺の商人が、寛永年間(1624～1645)に道修町で薬種屋を開いたことから始まると言われていています。道修町の薬種商の家では、中国の薬の神様である神農氏の掛け軸を拜むようになりました。

安永 5 年(1780)に道修町の薬種中買仲間による伊勢講が結成され、日本の薬の神様である少彦名<sup>すくなひこな</sup>命<sup>のみこと</sup>の分霊を勧請し、神農氏とともに祀られるようになりました。これが少彦名神社です。

### ■インクロム 会社概要

インクロムは SMO(治験施設支援機関)として医療機関と契約し、煩雑な治験業務のサポートを行っています。治験を担当するスタッフを医療機関に派遣、治験ボランティア募集業務やボランティアパネルの管理など、治験を円滑に進めるためのサポート体制を整えている点が特長です。これまでに当社が関わった試験数は国内だけで約 1600 試験を誇ります。当社が支援する提携医療機関の中核となっているのが、医療法人平心会 大阪治験病院です。大阪治験病院は、2005 年 11 月に開設された、日本で初めて生まれた治験に特化した病院です。

社名	インクロム株式会社
所在地	(大阪事業所) 〒565-0853 大阪府吹田市春日 4-12-11 千里サンプラザ新館
資本金	4000 万円
代表者	金田仁二郎
社員数	グループ総数 343 名(2012 年 12 月 1 日現在)
創業	1975 年
事業内容	治験実施支援
主要提携医療機関	医療法人平心会(大阪治験病院/OCROM クリニック/ToCROM クリニック)

### ■治験とは

厚生労働省は、新しい薬の使用を許可するとき、その薬の安全性と有効性(薬効)を裏づける種々の資料の提出を義務付けています。それらの資料には、動物から情報を得るための試験である「非臨床試験」やヒトから情報を得るための試験である「臨床試験」の情報が含まれています。この「治験薬を開発して、厚生労働省の承認を得るために行なう臨床試験」のことを「治験」と呼びます。治験の資料がなくては、どんなに優れた効き目を持つ薬も許可されません。

### ■SMO とは（日本 SMO 協会ホームページより抜粋）

SMO(Site Management Organization：治験施設支援機関)は治験実施施設(医療機関)と契約し、GCP に基づき適正で円滑な治験が実施できるよう、医療機関において煩雑な治験業務を支援する組織です。治験に関わる医師や看護婦、事務局の業務を支援することにより、スタッフの負担を軽減し、治験の品質・スピード向上を支援します。